

新しい薬学をめざして

Vol43 No.7
2014.9.1

発行 新薬学研究者技術者集団

〒555-0024 大阪市西淀川区野里3丁目6-8 E-mail shin-yakugaku@tea.ocn.ne.jp
(有)大阪ファルマプラン・あおぞら薬局 気付 郵便振替口座 01090-8-16463
TEL 06-6477-8080 (担当 稲垣) FAX 06-6477-8082 URL http://pha.jp/shin-yakugaku/

特集

集団的自衛権行使容認の閣議決定に反対する

ゴッコ遊びの安倍内閣

石田 悟

精神科臨床を長くやっていると、表と裏の関係を自然に読もうとする癖が身についてしまうようだ。私たちの前で繰り返される症状（表面）の裏側に位置し、患者さんが伝えたい本質的な部分が何であるかに、意識を集中化させてしまうのである。

そのことは、私が精神科医療に触れたときから影響を受け、精神科臨床の土台ともなっている先達の一人、ハリー・スタック・サリヴァン（1892-1949年）から学んだ臨床作法の一つである。

周知のようにサリヴァンは、精神科領域に薬が全くなかった時代を生きた米国の精神分析医である。彼は人薬（ひとぐすり）（注1）を中心としたモラルトリートメント（人間の治療—中井久夫による）を基本に、果敢に統合失調症の治療に挑戦し、生涯において7割以上の統合失調症患者を社会的治癒に導いたとされている。

サリヴァンはその著書（注2）および講演において、統合失調症は人間的な病であり、彼らが強く希求するのは心の安寧（平和）であるとしている。日本への原爆投下にショックを受けたサリヴァンは、世界保健機関設立に奔走し、精神科に薬（クロルプロマジン）が登場する前年の1949年に、パリで客死している。

サリヴァンから学び、患者のそばに身を置く臨床を続ける中で思うことは、サリヴァンが述

目 次

□集団的自衛権行使容認の閣議決定に反対する		□シンポジウム「骨粗鬆症薬を検証する」から	
ゴッコ遊びの安倍内閣	石田 悟…………… 138	骨粗鬆症薬の最近の市場動向	廣田憲威…………… 148
武器よさらば	中村玉枝…………… 140	骨粗鬆症の関連ガイドライン	寺岡敦子…………… 153
いいことは何もなかった	三原啓子…………… 141	□60歳からのハーフマラソン	佐々僚巳…………… 157
□福島いま（その13）		□こだま	
日本語の無力化と風評被害	佐藤政男…………… 143	水泳のすすめ	八幡朋子…………… 160
		□新薬学者集団第2回運営委員会の報告	…………… 161